

【ねがいましては】

平成23年11月25日

KYOWA SCHOOL

第253号

「くらべない」

ブータン国王夫妻の訪問があり、メディアは毎日のようにその様子を報道していました。ある朝某番組の中でGNH（国民総幸福量）について興味深い事を言っていました。「ブータンがGNH世界一であるのは、国を挙げて次のことに取り組んでいるからです・・・。」その中に『くらべない』という項目があり、私は心を奪われました。私が普段授業の中で嫌というほど言っていること・・・「くらべない」・・・不思議とこの小さな空間に漂う、落ちついた幸せな空気は何なのだろうと思っていたところに、やはりこれなのかと理由がわかってきたような気がしました。

新入生たちがそろって見せるある行動・・・やけに周りに対して威圧的な態度、例えば並んでいるときに、割り込みをされるのではないかと不安な表情になっていたり、私が教えている子のそばで「わたしもうできるよ」「もう知ってる」など・・・自分を少しでも高く見せようとするこの行動、また見られたくないのか、書いているそばから手でその部分を覆ってしまったり、新入生の8割以上が見せてくれます。時間が経つにつれ徐々に子どもたちは落ち着きを見せ始めます。「ここは普段どおりの自分でいられるところなんだ。」「ここははじめに近い事をしてくる子がいないんだ。」どんどんここは落ち着きを高めていきます。特に夜の中学生たちのクラスは、皆、真剣そのもの、一番ふざけているのは私です。彼らの中に「安心」が宿っていることをしっかり受け止めることのできる瞬間です。

ブータン王国が率先して「くらべない」に取り組んでいるのなら、それは職場でも家庭でも、そして学校でも一貫しているはずです。「ほらっ、くらべないくらべない。」あたりまえのように母は、子に言い聞かせます。その光景が当たり前であれば、子どもたちは皆、安らぎの中で生活できます。

早速インターネットで情報収集。すると今年10月にツアーで学校訪問をなさった方の記事がありました。その中に興味深い評価基準がありました。GNHプログラムのひとつとして行われている12の評価は次の通り、「1.礼儀正しい」「2.自信がある」「3.誠実である」「4.素直である」「5.時間を守る」「6.責任感がある」「7.規律正しい」「8.主張できる」「9.ユーモアがある」「10.進んで仕事をする」「11.慈悲深い」「12.身なりが整っている」。

それぞれをA～Eで評価し、最後に「幸せの程度」を3段階で評価します。これを生徒自身、保護者、教師の3者がそれぞれ行って、もしその中に大きなズレが生じているようであれば、話し合いを持ち、子どもの状態を把握し対処するそうです。

なんと『心』最優先。この評価は学業面の成績とは完全に切り離してあるそうです。

ブータン王国の子どもたちは、一度学校へ来ると家に帰りがたらないそうです。いつまでも学校にいたがるため教師は帰すのに大変なのだそうで、この現象、日本とはまったく正反対のように感じます。

私のこの小さな空間でも、そこまでは大げさではないのですが、「ねえ、もう終わろうよ。」と、声をかけても誰も終わろうとしないことがよくあります。向かっていることは学校での勉強に繋がることなのですが、ひとりひとりが見せている真剣なまなざしは迫力があります。究極は「泊まってく・・・。」

学校では率先して先生方が、「くらべない・・・。」家庭でもお母さんは「くらべちゃダメよ。」一貫して『くらべない』を提唱していたら、ひょっとしたら・・・。

ご家庭でつつい出てしまうことば「〇〇ちゃんはどんどん成績あがってるってよ!」「〇〇さんは毎日2時間、自宅で勉強してるってよ。」「〇〇君は、順位が50番も上がったそうよ。」「・・・それにくらべてあんたはもう!」

ひょっとしたら、口ぐせになっているかも・・・。子どもたちには馴染みのものになっているのかも・・・。

ある日の授業のおわりに聞いてみました。「自分を幸せだと感じている人・・・」「しーん」誰も手をあげませんでした。これは間違いなく彼らの学校現場に対するところからの抗議であり、率直な心の現われだと思えます。

勉強って何なのだろう。学校って何なのだろう。生きるって何なのだろう。子どもたちは釈然としない気持ちのまま、時間というレールの上を、背中を押されるように歩かされます。

わたしはこのように生きてみたいのです。このように取り組んでみたいのです。生き方、自由な国ではないのですか。みんながやっているから、わたしも・・・。じゃないと、なんか置いていかれそうな気がして不安なんです。

いつもいつも他人を気にしながら生活していると、いつのまにか自分がどこかに行ってしまうって、生きているっていう実感が感じられないのです。

子どもたちを襲っている、知らずのうちにかかってくる病魔は、そんな現象を起こしているようです。

さあ皆さん、あなたはあなたらしく生きることが出来ます。今のあなたが精一杯にいのちを咲かせているのなら、それが人らしさの頂点です。誰も何も言うてくることもありません。ふと気がつくと、笑顔がこぼれていることに気がついて下さいね。その笑顔をとりの人が見てくれます。ところがポツと温かくなります。そしてとりの人へ・・・。

くらべることは簡単、でもくらべることを忘れて、とりの人に幸せを伝えることは、最も人らしさを感じさせることのできる瞬間です。おもいやりを配りましょうね。やさしさを配りましょうね。

そしてありがとうをくばりましょう。「ありがとう」